

Ⅱ期（一般・学内）

受験 番号	<input type="text"/>	氏 名	<input type="text"/>
	<input type="text"/>		

令和6年度

武蔵野大学大学院 言語文化研究科 言語文化コース 入学試験問題・解答用紙（12月17日）

評 点

[小論文]

以下の4つの設問から1つ選び、1000字程度で論じなさい。
なお、問題・解答の余白をメモに使っても構わない。

- ① 言語教育において、学習者の言語能力を適切に測る試験の作成には、「妥当性」と「信頼性」の二つが重要になります。能力測定における「妥当性」と「信頼性」とはそれぞれどのようなものを説明してください。そして、「妥当性が高い／低い」、「信頼性が高い／低い」試験とは、どのようなものか、具体例を挙げて説明してください。
- ② 教師の「ティーチャートーク」とは何か、その定義を示してください。そして、教師は実際にどのようにして「ティーチャートーク」を行うのか、その方法を説明してください。さらに、「ティーチャートーク」の効果と問題点を、具体的な例を挙げながら述べてください。
- ③ 日本語のオノマトペは、他の言語への翻訳が難しいと言われています。その理由を述べてください。そして、あなたなら、日本語のオノマトペをあなたの母語に翻訳するとき、どのように工夫するかについて述べてください。
- ④ 文化受容の態度には、「統合」「同化」「分離」「周辺化」という4つのタイプがあることが知られています。これら4つのタイプの定義を述べてください。そして、この中から一つ選び、自分自身の経験を例にして、具体的に説明してください。

<メモ用余白>

